



地元の野菜が一番安全

地元の野菜を知ってもらおうと、9月6日野菜生産者「不動滝やさいの会」の方が恵那北小学校を訪れ、5・6年生と交流会を行いました。地産地消の大切さ、安全でおいしい野菜の作り方などを学んだ後、一緒に地元の野菜を使った夏野菜カレーを食べました。5年生の勝勇斗君は「普段は野菜を作る方が好きで、あまり食べないけど、カレーに入った野菜はおいしく食べれた」と笑顔。みんな残さずにきれいにカレーを食べていました。

地元の野菜4種類が入ったカレーに舌鼓



月夜に響く、琴の音

8月27日、まちなか多目的防災広場で市商店街おかみさん会主催の「月と絵を楽しむ会」が行われました。この会は恵那西中学校の美術部員が夏休みを利用して広場に描いた路上アートのお披露目を兼ねて行われ、大井幼稚園の園児10人が来場者約100人に月見団子と抹茶のサービスでおもてなし。だんだんと夜が更ける中、荻野梢社中の子どもたちによる琴の演奏が行われ、初秋の夜に響く琴の音色が来場者を和ませました。

浴衣姿での琴の演奏に観客もうっとり

防災意識を高めて

9月8日から11日の間、恵那文化センター展示室で第24回市火災予防ポスター展が実施され、704点の応募の中から選ばれた特別賞を含む優秀作品110点が展示されました。

8日には恵那市長賞をはじめとした特別賞の表彰式が行われ、34人の入賞者が表彰を受けました。

この取り組みにより火災予防の意識を高め、1件でも多くの火災を防止することが望まれます。

恵那市長賞に輝いた恵那西中学校2年西尾千絵さん



田んぼのコンサート

8月27日、明智町下田良子地区で野外コンサートが開催されました。山や田んぼに囲まれた約20軒の皆さんが、生の演奏を山の中のお年寄りに聴かせたいと始めたコンサートは今年で4回目。下田良子お堂の下に特設の野外ステージを製作、この地区出身のピアニスト大桑（旧姓：佐野）ひとみさんによるピアノ演奏、国内外で活躍する演奏家たちによるマリンバとピアノ演奏や歌などが披露され、訪れた約300人を魅了しました。

周囲が田んぼに囲まれた野外でコンサート



虫の音色とともに

9月10日、三郷公民館で渡辺洋子さん（ソプラノ）と白石英統さん（ピアノ）によるふれあいジョイント・コンサートが開催され、約50人が集まりました。

「ちいさい秋みつけた」や「赤とんぼ」など、多くの秋をテーマにした歌や、華麗なピアノの独奏を披露したほか、集まった参加者とともに「紅葉^{もみじ}」などを一緒に歌う場面も見られ、秋を迎えた三郷の町に、澄んだ歌声が響き渡りました。

渡辺洋子さん[㊦]と一緒に歌う参加者



災害に備えて訓練だ

防災週間の9月4日、飯地小学校で防災訓練が行われました。訓練には飯地町の方など約20団体から約460人が参加。地震の発生で家屋が倒壊し、崖崩れや火災が発生。また大雨が降り、床上浸水の危険があると想定で行われました。参加者は応急手当、炊き出し訓練のほか、今回初めて災害図上訓練が行われ、自治会ごと地図に危険箇所や避難経路、1人暮らしのお年寄りの家などを記入。身の回りの危険地区など改めて確認しました。

愛知万博でも使用されたAEDの使い方に耳を傾ける



地域の安全を守る

9月22日、大井町地域防犯パトロール隊結成式が行われました。

深夜の侵入盗や子どもたちに関する事件が増加している中、地域の安全は地域で守ることを目的に、自治連合会、小中PTA、幼稚園・保育園保護者会などボランティアがー丸となってパトロールを実施します。

この日は、結成とともに、パトロールグッズが構成員の手に渡り、安全に暮らすことができるよう、事件の抑制を決意しました。

恵那警察署長からマグネットシートを受け取る大井隊長



いつまでもお元気で

9月15日、市長が市内に在宅の最高齢者と99歳の高齢者の5人を訪問し、花束などを贈り長寿をお祝いしました。

在宅の最高齢者は男性が保母^{かきそ}覚三さん（明智町大久手・103歳）、女性が小木曾さださん（山岡町田沢・102歳）。保母さんは買い物やテレビで相撲を見ること、小木曾さんは絵を描くことが楽しみと話され、皆さん話題が豊富で、市長と楽しく歓談されていました。

保母覚三さんに花束を渡し、長寿をお祝い

街道に揺れる優しい灯

9月24日、山岡陶業文化センターで登り窯完成1周年を祝う秋祭りフェアが開催され、市内外から多くの皆さんが訪れました。

陶芸教室の生徒が作った作品の即売会、五平もち、豚汁などのバザーのほか、子どもたちが粘土で遊んだり、炎を上げている登り窯に願い事を書いた護摩木を投げ入れたりといろいろな催しが開催されました。午後8時には街道に置かれたランプシェード300体に灯がともされ、見るものを癒してくれました。

ランプシェードの優しい明かりを楽しむみなさん

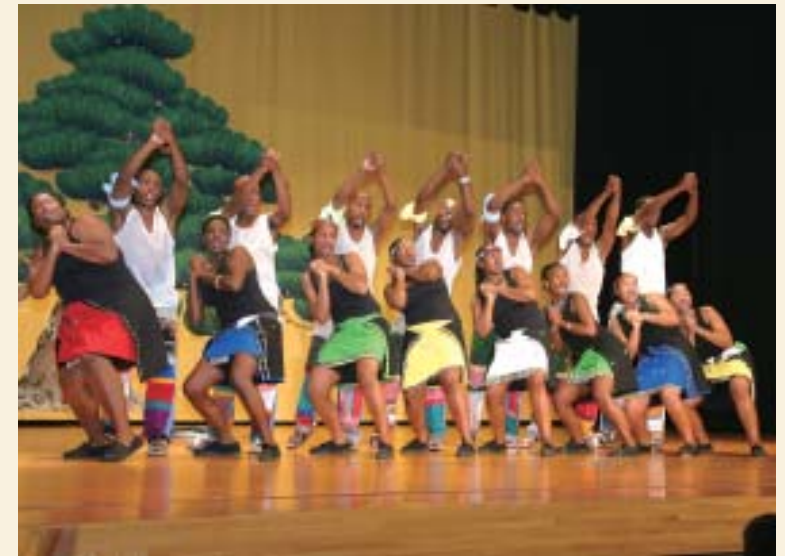


迫力のゴスペルに感動

9月19日、串原のサンホールくしはらで南アフリカの聖歌隊「ゾラ・ユース・クワイヤー」がコンサートを行いました。

コンサートは、民族の歌やメンバーのオリジナル曲、日本のもみじなど、すばらしいハーモニーとリズムカルな振り付けで観客を魅了しました。南アフリカと串原地区は、ヘボ（クロスズメバチ）が取り持つ縁で交流を続けており、メンバーは串原にホームステイし、老人福祉施設などを訪問しました。

南アフリカの大地を思わせる迫力あるゴスペル



大盛況！みのじのみのり祭

9月24日、25日の両日恵那駅前市街地を中心に、みのじのみのり祭が行われました。

合併後初となる祭りでは、200杯 焼き松茸や、6,000食の松茸ご飯販売、スタンプラリーなど人気イベントが目白押し。

24日の夜にはメインイベントの一つである、お御輿競演が行われました。この日のために作り上げた迫力いっぱいの18体のお御輿が市街地を練り歩き、祭りをより一層盛り上げました。

最優秀賞に輝いた御所之前組のお御輿



米作りの苦勞を学ぶ

山岡小学校の総合学習の一環として、9月21日に5年生の児童51人が稲刈りに挑戦しました。

校庭内にある230平方メートルの田んぼに、コシヒカリと古代米を植え、成長過程を比較、観察しながら学習をしてきました。

保護者有志の協力もあり、順調に成長した稲を、児童たちは汗を流しながら、かまで刈っていきました。収穫した米は11月に行う親子行事で五平もちにする予定です。

刈り取った稲をかけて乾燥させる準備を行う児童